

現在、指定を受けて活動中のサービスについて、利用者の有無に関わらず、提供体制(定員)を記入してください。
「9月中」の利用者がいない場合には、「2 なし」を○で囲んでください。

(35) サービスの状況

複合型サービス

登録定員		人	宿泊サービスの利用定員		人	通いサービスの利用定員		人						
9月中の利用者	1 あり 2 なし	↓	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		その他	
事業所を利用した利用実人員数(人)														
事業所を利用した利用延人員数(人)														
※重複する場合は、 計上してください。	宿泊	利用実人員数(人)												
		利用延人員数(人)												
	通い	利用実人員数(人)												
		利用延人員数(人)												
	訪問介護	利用実人員数(人)												
		利用延人員数(人)												
訪問看護	利用実人員数(人)													
	利用延人員数(人)													

(36) 併設の状況
(複数回答)

同一法人(法人が異なっても実質的同一経営の場合を含む。)が同一又は隣接の敷地内で運営している異なる施設・事務所について、該当する番号をすべて○で囲んでください。
1 訪問看護事業所と併設している
2 認知症対応型共同生活介護事業所と併設している
3 居宅介護支援事業所と併設している
4 地域密着型特定施設と併設している
5 地域密着型介護老人福祉施設と併設している
6 介護療養型医療施設(有床診療所に限る)と併設している
7 1～6との併設はない

(37) 宿泊室の状況

個室の数		室	個室以外の宿泊室の数		室
------	--	---	------------	--	---

(38) 宿泊費の状況

各居室の種類ごとに、事業所が設定している料金の高い順に記入してください。

宿泊費(日額)		円		円		円		円		円		円
室定員		人室		人室		人室		人室		人室		人室
室数		室		室		室		室		室		室

(39) 夜勤職員の実人員数及び夜勤回数

9月中に、事業所が定める夜勤時間に夜勤を行った職員の実人員数、延べ夜勤回数を記入してください。

看護職員	実人員数		人	介護職員	実人員数		人
	延べ夜勤回数		回		延べ夜勤回数		回

(40) 社会福祉法人等による軽減の状況

1 実施している	→	9月中の軽減者数		人	(生活保護受給者等は含みません)
2 実施していない					

(41) 従事者数

	常勤専従	常勤兼務	換算数	非常勤	換算数		常勤専従	常勤兼務	換算数	非常勤	換算数
1 介護職員						4 介護支援専門員					
1のうち介護福祉士						5 その他の職員					
2 看護師											
3 准看護師											

(補間) 認定特定行為業務従事者
(介護職員等であって、喀痰吸引等の業務の登録認定を受けた従事者)

	人
--	---

(注) 「常勤専従」については、換算数の記入は不要です。

「常勤兼務」「非常勤」については、右記の計算式により換算数を計算し、それぞれの「換算数」欄に記入してください。

小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。

得られた結果が0.1に満たない場合は「0.1」と計上してください。

※ 雇用形態にかかわらず、事業所が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてください。

換算数 =
$$\frac{\text{従事者の1週間の勤務延時間数(残業は除く)}}{\text{当該事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)}}$$

(1週間の時間数が32時間を下回る場合は分母を32時間としてください。)

(換算数の詳細は手引きを参照してください。)